

百尺竿頭

ひゃく しゃく かん とう

札幌市青少年山の家だより

第43号

平成26年(2014年)2月1日発行



「雪を体感する子どもたちに」

札幌市青少年山の家

野外教育主幹 金田 隆史

宮沢賢治作「ゆきわたり」にこんな描写があります。

地面は「雪がすっかりこおって大理石よりもかたくなり」、空は「冷たいなめらかな青い石の板でできているらしく」今日は「いつもは歩けないきび畑の中でも、ススキでいっぱいだった野原の上でも、好きな方へどこまでも行けるのです。平らなことは、まるで一まいの板です。それが、たくさんの小さな小さな鏡のようにキラキラキラキラ光るのです。」

地面は一面どこまでも雪が固く凍って一枚の板になっており、野原も田畑も一面がかた雪におおわれて、空気も冷たく凍り、空は一枚の青い石の板のような雪の世界で人間の子供とキツネが出会うのです。また夜の描写では、十五夜のお月さまがのぼり、雪はチカチカ青く光り、寒水石のようにかたくこおっています。森は青白いけむりにつつまれています。キツネの学校の子供も、小さい子は大きな子の肩車にのって、お星様をとろうとしています。それぐらいお星様が近くに見える、十五夜の青く冷たくこおった月夜なのです。

以前使っていた5年生の国語の教科書(教育出版)の教材ですが、雪景色の様子がたくさん描写され、子どもたちにどうイメージをさせたらよいのか迷ったことを思い出します。イメージさせたことを絵に描かせたり、写真を使って言葉の意味を味わわせるなどさせてみましたが、どうやっても間接体験で雪景色の様子を十分にイメージ化できませんでした。

札幌市青少年山の家にも雪のプログラムがいくつかありますが、スキーや雪での遊びをする中で子供たちが**かた雪**、**凍み雪**等、同じ雪でも時期によって変化する雪の質を体感する活動をぜひ取り入れてほしいと思います。この物語を読み深めるためにもその雪をイメージできる学習活動が重要だと思います。

先日、西野第二小学校の12月号の学校便りを拝見する機会があり、子供たちが雪の中にミカンを入れて凍らせようという取り組みから、雪の保温効果に気づく学習の様子が乗せられていました。

雪の下に息づいている植物の様子や雪圧など雪を通して子どもたちに何を体感させるかは幼稚園・小学校ではとても大切なことだと思います。間接体験・疑似体験に優る実体験を大切に活動をし、山の家で存分にさせていただけるよう、今後もプログラム開発に力を入れていきたいと思っています。



実施事業のご報告

■ 幼保小連携事業「なかよしキャンプ④」 1月18日（土）～19日（日）

会場を定山溪自然の村に移して実施したなかよしキャンプも最後の活動回となりました。森の中での雪遊びや、クルミを使ったクラフト、夜のキャンプファイヤーなどの活動をとおして、子どもたちは更に仲良くなったようです。4月から同じ学校に通うということもあり、それぞれが楽しみにしている様子でした。



利用者アンケートより

▲ 部屋の室温の調整ができれば良いです。

⇒ 青少年山の家の暖房は、点火及び消火、温度調整等を事務室にて集中管理しております。

各部屋の暖房は操作ができないよう、操作パネルにカバーをかけておりますが、引率者の皆様にはカバー解錠用の鍵をお貸ししておりますので、必要な際にはお気軽にお声掛けください。

野外活動の



「観天望気」

「観天望気」この言葉を御存知でしょうか？自然現象や生物の行動の様子から天気や天気の変化を予測することですが、「夕焼けの次の日は晴れ」や「ツバメが低く飛ぶと雨」といった言葉はよく耳にするのではないのでしょうか。天気のことわざともとれる観天望気は、コンピューターでの天気予報が発達する前から、多くの人々が天気を予測する手段として活用してきました。現在は携帯電話等にて手軽に情報を得られる便利な時代ですが、観天望気は農業や漁業、あるいは登山家といった常に自然と対峙している方々にとっては今も大変重要であることに変わりはありません。

天気予報も観天望気も正確性には誤差があり絶対ではありませんが、野外活動はもとより日常生活においても、天気予報と共に観天望気の知識があれば、活動計画の立案及び活動中におけるリスクの軽減の手助けになると思います。

観天望気にはそれぞれの地域の地形や気候によって様々なものが存在するのもおもしろいところです。また、ある所では工場の煙突から流れ出る煙の向きによって積雪を予測しているという話を聞いたことがあります。自然現象と人工的な現象が合わさったものも観天望気のひとつと言えます。

観天望気という知識を少しでも多く知っていただき、みなさんの活動や生活に役立ててほしいと思います。

『Wikipedia（観天望気）』より抜粋

- ・「ネコが顔を洗うと雨」
- ・「クモが糸を張ると明日は天気が良い」etc



発行者：札幌市青少年山の家
指定管理者（公財）さっぽろ青少年女性活動協会

〒005-0862 札幌市南区滝野 247 番地（国営滝野すずらん丘陵公園内）
電話（011）591-0303 FAX（011）591-0394
ホームページ <http://www.sapporo-yamanoie.jp>